

アメリカのクーデタが進行中

メーデーに備えよ：
深層国家がトランプ政権に対し“紫革命”を仕掛ける

【訳者注】ソロス-オバマ-クリントンの“深層国家”側と、トランプ政権側の戦いは、すでに始まっているというのは本当だろう。残念ながら、昨日(?)、アメリカで最も有名な反体制警告者アレックス・ジョーンズのニュース・ショウ **Infowars** が、禁止されたたようである。これを見ても風雲急というより、破れかぶれというべき、露骨な戦闘状態に入っており、またユーチューブなどを見ても、広場にはトランプの弾劾 (**impeachment**) を求める者たちが常にたむろしている。論者は、ウクライナのマイダン広場のような暴動を、メーデーあたりに予想している。理性はもう死んでいる。彼はトランプ支持者の数で圧倒せよと言っている。

それにしても、自分たちの国を乗っ取り、自分たちを食い物にしようとする(ピザゲートがまさにそれ)者たちを支持する者が、これだけ多いというのは不思議というほかはない。

「主流メディアに対する宣戦布告」という言い方は強烈だが、これは、そもそも犯罪部局のCIAがメディアを支配しているからである。論者は、トランプ政権が早急に解体すべき「3本柱」は、主流メディア、CIA、それに連邦準備銀行だと言っている。

State of the Nation (SOTN)

February 19, 2017



現在、トランプ政権に対し、全面的な密かな革命が仕掛けられている。CIAは普通、深層国

家の主人たちの指令で、最初、ソフトなクーデタを試みる。それが政権交代の実現に失敗すると、彼らはその地域が革命の熱い局面に対して十分に軟化してきたことを知る。

アメリカ合衆国では、その革命は、進行中の、しかし急速に白熱してきた“紫革命” Purple Revolution として知られている。扇動によるこの革命は、トランプ大統領が 2016 年 11 月 8 日に選挙に勝った当日に（それより前ではないとしても）すでに始まっている。

キーポイント：

- ・深層国家は、トランプ大統領が、アメリカ合衆国大統領として統治するのを、許すつもりはない。
- ・深層国家は、CIA と主流メディアを用いて、事あるごとに、トランプ政権に干渉させるだろう。
- ・深層国家は、トランプが権力から追われるまで、革命を迫り続けるだろう。
- ・深層国家は、究極的には、トランプ政府全体を追放しようとするだろう。

この 4 項目が、現在、NWO グローバリストのアジェンダとして、トランプ政権に真っ向から反対して、アメリカ全土で実行されつつある。大統領補佐官であり、ホワイトハウスのチーフ戦略家 Steve Bannon が、主流メディアは（売春与党から）野党に転向したと言ったとき、それは本音だった。<http://stateofthenation2012.com/?p=66489>（スティーブ・バノン：「野党メディアとの関係改善などする気はない！」——ブライトバート・ニュース）

主流メディアに対する逆宣戦布告

そう、今まさにそれが起こっている（上のリンクを見よ）。世界全体が今、主流メディアと現職アメリカ大統領の間の全面戦争を目撃している。この前例のない戦争は、主流メディアとトランプ政権の間で起こっているだけでなく、アメリカとアメリカを超えた世界の人民の間でも起こっている。

アメリカ市民は、2016 選挙サイクル年を通じて、主流メディアの示した誠実さの完全な欠如を、これまでにないほどに目撃した。トランプ候補は、ニュース会見と選挙演説のたびに、ウソつきメディアと、大量のフェイク・ニュースを暴露した。それによって世界全体が、今、主流メディアは決して信頼できないという事実を、胸にしみて知るようになった。

主流メディアは深層国家の最大の報道手段だから、ある高度に重要な決定が、その隠された指導層の間で下され、トランプを、拙速でも大急ぎで権力から排除し、彼らの“地球コント

ロール・マトリックス”が、前例のない瓦解をしないようにしなければならなかった。深層国家は、いま自分が死の苦しみの中にあることを、十分よく知っている。そしてまた彼らは、このような深刻な実存的脅威が、全体的な上部構造（とインフラ構造）が自分の立っている場所へ崩れ落ちる前に、やってくることを知っている。

この 21 世紀の“タイタン（巨人族）の戦争”が、今あまりにも熱してきたので、実は、どちらの側も後へ返せなくなった。決着するまで死の道を通り抜けるしかないのだ。

主流メディアは、これまでになく正体を現してきたので、その結果、最も考えられるのは、閉鎖しかないとされる。いま一般大衆の広場は、主流メディアが何十年もの間犯してきた大逆と扇動を証明する証拠が、あふれかえっている。ひとたびアメリカの人民が、国家的大逆と人類に対する犯罪の、関連する証拠を調べてみるなら、それはもっぱら、メディア産業全体を巻き込む犯罪の訴訟の問題になるだろう。

忘れないでほしいが、深層国家は、メディアの完全な私有と、その効率的な機能がなければ、少しでも納得を与えるように機能することはできない。CIA と他の 16 の米情報局はすべて、主流メディアがしっかり約束している、メディアによる取材を必要としている。軍-産複合企業も同じであり、さらに大きな政府-大企業複合体も同じである。したがって、主流メディアがついに崩壊し炎上したとき、深層国家を構成する他の大きな機関も、すべて崩壊することになる。

“メーデーに備えよ!”

この肝心なことを理解していれば、次の 120 日間は、深層国家にとってきわめて重要であることが、明らかなはずである。トランプ政権が権力を確保し強化していく、その日ごとに、深層国家は、米政府と世界全体に対する影響力を失っていく。そのような決定的な権力の弱体化は、アメリカ共和国の内部で、深層国家の死の知らせとして響くであろう。

ここから、現在、この戦争のどちら側にとっても、時間との大競争が存在するのがわかるであろう。深層国家のために働く要員たちは、ソフトなクーデタが、大統領への弾劾決議か他の形で成功するだろうと、明らかに考えている。CIA は最近、ブラジルの 36 代大統領 Dilma Rousseff を“平和に”除くために、このような戦略を使った。

間違わないでほしいが、ソフトなクーデタが成功しなければ、深層国家の要員たちは、彼らの“紫革命”の熱い局面に入っていくだろう。すべてが、大規模な“メーデー”の密かな出来事の方を指している。ワシントン DC のナショナル・モールでの、これまでにない大集会

に、多くの、違った考えのグループが民主党として参加して、すでに仕事を始めている。

ものすごく大きなメーデー抗議を利用すれば、あのマイダン広場の出来事が起ったようなコンテクストを、作り出すことができるかもしれない。(ウクライナのキエフでの暴力蜂起を思い出してほしい。) イルミナティは、何世紀にもわたって、彼らの革命や内乱を演出するのに、日付や数魔術にこだわることで有名だ(例えば、メーデーのパレードやテロ事件)。キエフの操作された蜂起が、密かに、ウクライナ大統領ビクトル・ヤヌコビッチの強制追放に利用されたように、同じような誘発の手を用いて、ボルシェビキ左翼が本当に発狂して、トランプをホワイトハウスから追い出すように、細工することができるかもしれない。

彼らの事実上のリーダー、バラク・オバマが背後から静かに“紫革命”をリードしながら、多くの民主党の分派たちが、彼の比類のない人間性の教えによって、これまでに十分に洗脳されている。超リベラル派、極左、ニセ進歩主義者、それに DINO (名だけの民主党員) などが、必要なら——言葉・行動ともに——たやすく暴力に訴えることは証明済みである。ここから言えることは、本物のメーデー事件がいつ企まれても、トランプ大統領に対する圧倒的な支持を表明することによって対抗できるように、準備しておかねばならないということである。<http://stateofthenation2012.com/?p=66609> (メーデー! 暴力的な“アメリカの春”が、300万の扇動者のワシントン DC デモによって計画されている)

もっと重要なことは、メーデー国家転覆計画に対抗する、おそらく唯一の効果的な方法は、先制攻撃である。トランプ運動が、かつて例のなかったほどに動員され、ワシントン DC に集結して、アメリカ歴史上なかった、支持と団結と数の多さを示す必要があるかもしれない。このような圧倒的な、比較するものがない、民衆の支持を示すことが、民主党の暴動を抑止するのに必要なすべてかもしれない。それはまた、臆病な民主党員を逃げ出させるのに役立つだろう——特に、暴動の炎を掻き立てる隠れた扇動者たちを。

内戦とも、第2アメリカ革命とも

この進行中のソフト・クーデタを、本格的な内乱の前哨戦と呼ぶ人もあれば、2001年9月11日以来、オバマ及びブッシュ政権によって故意に創られた、暴政的米連邦政府に対する“第2アメリカ革命”と呼ぶ人もある。

現在の敵対関係が、本質的に深層国家の扇動者の顔を代表する、ソロス-オバマ-クリントン一味によって始まったことに疑いはない。深層国家は、一枚岩的な、あらゆる場所に浸透している規程のようなもので、その下でグローバリストの“新世界アジェンダ”が、一日も休まず、世界的に実行されている。

キーポイント：深層国家は、決して国家主権というものを尊重しない。また彼らは、この惑星の人間すべてのグローバル化と等質化を除いては、どんな原理にも民族にも忠誠を払わない。その中心的目標は、“一世界政府”（One World Government）によって監視され、深層国家の要員が世界国家共同体に押し付ける、“新世界秩序”（New World Order）である。

彼らの致命的に欠陥のあるアジェンダを考えると、アメリカという国が彼らの機械に不可欠の歯車であるのは当然である。New World Order の軍事的な腕として、アメリカ軍が、深層国家の黒い作戦や操作に絶対必要である。それがなければ、深層国家は張子の虎にすぎない。したがって、“一世界政府”というような不備な構想は、米軍の全面的な協力がなければ実現できない。これが現在、革命と内乱が、リアルタイムで同時並行して進展している理由である。 <http://stateofthenation2012.com/?p=6115>

現実問題として、ソロスが資金を出し、オバマがリードし、クリントンが始めた内乱（市民戦争、紫革命とも呼ばれる）が、わずかの刺激によって、深層国家とその“オバマネーション”と呼ばれる恐ろしい体制に対する“我々人民”の正当な反乱を、誘い出そうとしている。

（注：Obamanation は“オバマ国家”だが、発音の近い Abomination（忌まわしいもの）に意図的に掛けられている。）これはきわめて重要な点で、すべてのアメリカの愛国者が理解していなければならないことだ——国家に対する扇動的“紫革命”と、深層国家に対する“我々人民”の革命には、天地の差がある。

特別注意：

この革命とか内乱という領域に不案内な人々のために、次の論文を読んで理解されることをお勧めする：<http://stateofthenation2012.com/?p=66463>（元 CIA 高官 Robert David Steele が紫革命計画を暴露説明）オーディオ・ビジュアル版がよいと言う人は、次のYouTubeをお勧めする：<http://stateofthenation2012.com/?p=66454>（元 CIA 高官：フリンの解雇はハイレベルの DC ペドフィリア・リストをめぐるもの）読者の皆さん、我々が認めなければならないのは、我々が混乱と不安の、異常な時代に入ってきているということである。前に述べた、深層国家にとっての 120 日間の暴動の窓枠は、アメリカ革命戦争（独立戦争）以来、おそらく最も危険な期間である。たしかに、両側がするどく意識しているのは、あの危ない泥沼である。そしてピザゲイトは、トランプが、大統領職の篡奪を防ぐのに使うことのできる、まさにトランプ・カード（切り札）である。

結論

“我々人民”は十分に、あらかじめ警告されている。

“紫革命”は、その実体が国家反逆計画であることを、完全に暴かれている。

メーデーが、オバマ、クリントン、ソロスに導かれた“紫革命”国家転覆計画の、決行時期として予言されている。

深層国家は、世界全体を支配する、恒久的な戦争経済によってのみ存在できる、裏切りの、危険なグローバルな実体として、正体を暴露されている。

これらを理解した上で、“我々人民”は、これら不気味な脅威と、その恐ろしい結果に、速やかに、適切なやり方で、立ち上がることが絶対に必要である。

今と、このニュース・シリーズの次の配信の間に、すべての愛国者が、この進行中の“第2アメリカ革命”における自分の役割を、しっかり考えておかなければならない。この深刻な闘争を避けて逃げることはできない。“我々人民”は、不屈の精神とゆるがない決意をもって、ここを通り抜けなければならない。

そしてドナルド・J・トランプ大統領は、本当に「アメリカを再び偉大にする」ために、あらゆる慎重なスピードをもって進まなければならない。この高貴な努力を成し遂げる、彼の秘密の方式がここにある— <http://stateofthenation2012.com/?p=66083> (深層国家の3本柱が引き倒されねばならない——直ちに)

筆者注：

次の暴露記事は、紫革命の人的スタッフがどうなっているか、および、そのピザゲイトとの直接的つながりについて説明している。彼らの計画についてのこの記事は、自分が本当は何を扱っているかを知るために、愛国者によって理解されなければならない。

<http://themillenniumreport.com/2017/02/the-critical-connection-between-pizzagate-and-the-purple-revolution/> (ピザゲイトと紫革命の間の決定的つながり)

編集者注：

トランプ政権と主流メディアの間の全面戦争を疑う人のために、下のビデオと記事はすべての疑いを吹き払うはずである。

ビデオ : <http://stateofthenation2012.com/?p=66427> (トランプはメディアを“アメリカ人民の敵”と呼ぶ)

必須読み物 : <http://stateofthenation2012.com/?p=64199> (CIA と深層国家の共謀がついに暴露される)

推奨読み物 : <http://stateofthenation2012.com/?p=66006> (深層国家が NSA のマイケル・フリン将軍を解雇)